

「食材表示適切に」

偽装問題受け 県、組合に要請書

全国のホテルなどで相次いで発覚した食材の偽装表示問題を受け、県は6日、県内のホテルや飲食店などが加盟する組合に対し、メニュー表示の再点検と、適切な表示の順守を求める要請書を提出した。

県内では大津プリンスホテル（大津市）のレストランで一昨年12月～今年8月、基準より乳脂肪分が多く含まれた乳飲料を「低脂肪牛乳」と表示していたことが判明。この日、ホテル

生活衛生同業組合など4団体を訪れた県の担当者は「表示は消費者の選択に関わる。偽装が疑われることのないよう気をつけてほしい」などと注意喚起した。

要請書を受け取った県生活衛生協会の谷本義広事務局長(60)は「一部の事業者が偽装をすれば、適切にやっている事業者全体の信頼も落としかねない。消費者のためにきっちり则表示できよう、改めて注意を促したい」と話した。



要請書を受け取る県生活衛生協会の谷本義広事務局長（右から2人目）＝大津市打出浜

(H25. 11/7 朝日)

メニュー表示は適切に 飲食、旅館業4組合に県が要請



生活衛生協会の担当者(左)に適切な表示を求める県職員＝大津市で

高級ホテルなどでメニューと異なる食材の使用が発覚した問題を受け、県は六日、飲食や旅館業らでつくる四つの組合にメニュー表示の再点検や適切な表示を要請した。

中井善寿県民生活衛生課長と林宏一生活衛生課長が、いずれも大津市内の県旅館ホテル

生活衛生同業組合、県食品衛生協会、県すし

・料理生活衛生同業組合、県喫茶飲食業生活衛生同業組合を訪問。「品質や内容、価格に関する情報は重要な判断材料となる。またアレルギー物質の表示は健康被害の防止を図るもので正しく伝える必要がある」などとした嘉田由紀子知事名の要請書を手渡した。

複数の組合を束ねる県生活衛生協会の谷本義広事務局長は「(虚偽表示は)きちんとやっている所にとっては迷惑。今はコンプライアンス(企業倫理)の

時代だと会員にきちんと伝える」と応じた。県内では一部ホテルで乳飲料を低脂肪牛乳と誤表示した事例などがある。(井上靖史)

(H25. 11/7 中日)

適正表示徹底を要請

県、ホテル・飲食業4団体に

食材の偽装表示や誤表示が全国のホテルなどで相次いでいる問題を受け、県は6日、ホテルや飲食業者でつくる4団体に対し、食材に関する適切な表示を加盟する事業者に徹底するよう、文書で要請した。

県旅館ホテル生活衛生同業組合、県食品衛生協会、県すし・料理生活衛生同業組合、県喫茶飲食業生活衛

生同業組合で、延べ約2500事業所が対象。県民生活課と生活衛生課の職員がそれぞれの事務局を訪ね、要請書を手渡した。

(H25.11/7 読売)